

【アピール】

「憲法 25 条を守り、活かそう！」「社会保障・社会福祉は国の責任で！」

2018 秋の集会・行動への参加・賛同を呼びかけます

誰もがいきいきと希望をもって安心して生きられる社会にすることは、私たちみんなの願いです。生存を脅かす戦争への反省とともに、その願いが託されて日本国憲法が生まれました。

憲法第 13 条は、ひとり一人の生命が大事にされ、自由が守られ、幸せを求めて人間らしく生きることが最大限に尊重されなくてはならないとしています。また第 25 条では、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が私たちにあり、国はそれを保障する義務があると明確に示しています。

しかしながら、政府は社会保障制度改革推進法を始めとした諸法律によって憲法第 25 条を空洞化させ、国民の生存権を保障する国の責任を放棄して社会保障の抑制を次々と進めています。「自己責任」と「営利化」を基本にした「社会保障解体」では国民のいのち・くらしは守れません。

本来「社会保障制度改革」は、「財源が無いから」と社会保障を縮小するのではなく、税制改革や所得の再配分機能を生かして財源を確保し、必要な保障を確保するものであるべきです。

私たちは、社会保障・社会福祉は国の責任だということを、改めて政府に求めます。そして、人間らしく生きることのできる社会保障・社会福祉制度を求めて、「憲法 25 条を守り、活かそう！」共同行動実行委員会を立ち上げました。

今年 10 月・11 月をゾーンに東京や全国各地で社会保障・社会福祉に関するさまざまな集会や行動を展開し、「憲法 25 条を守り、活かそう！」の大きな世論を創りだしましょう。高齢者・子ども・障害者・生活困窮者などの各分野を超えた団体・個人が広く手をつないで、それぞれが「憲法 25 条を守り、活かそう」を共通のスローガンとして掲げ、大きなうねりを創りだしましょう。共同行動実行委員会では、10 月 25 日に日比谷野外音楽堂での集会・厚生労働省包囲という中央行動を実施します。

この一連の共同行動に、立場や分野を越えてご賛同いただき、つながり、全国各地で、集会・学習会・街頭宣伝・パレード行進などを、できれば地域共同の取り組みとして企画いただけるよう呼びかけます。

ぜひ、一緒に、手をつないでいきましょう。

2018 年 8 月

【「憲法 25 条を守り、活かそう！」共同行動実行委員会問い合わせ先】

中央社会保障推進協議会(中央社保協) 担当(山口、是枝)

〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医療労働会館 5F

TEL 03-5808-5344 FAX 03-5808-5345 Email k25@syahokyo.jp

※8月22日現在、10～11月に開催される以下の集会、共同行動に賛同をいただいています。

- 10月11日 憲法・いのち・社会保障まもる10・11国民集会
- 10月19日 年金フェスタ／一揆
- 10月25日 憲法25条を守り、活かそう10・25中央行動
- 10月30日 『骨格提言』の完全実現を求める10.30大フォーラム
- 11月 3日 子どもたちによりよい保育を！ 11.3大集会
- 11月18～19日 障全協、第52回全国集会・中央行動
- 11月23日 地域医療を守る全国運動交流集会
- 11月25～26日 第32回日本高齢者大会

○「**憲法25条を守り、活かそう！**」「**社会保障・社会福祉は国の責任で！**」2018秋の行動 呼びかけ人(アイウエオ順 敬称略)

- 雨宮処凛 作家・反貧困ネットワーク世話人
- 伊藤真美 花の谷クリニック院長
- 稲葉 剛 立教大学特任准教授
- 井上英夫 金沢大学名誉教授・佛教大学客員教授
- 宇都宮健児 弁護士
- 荻原博子 経済ジャーナリスト
- 落合恵子 作家・クレヨンハウス主宰
- 金子 勝 慶応義塾大学教授
- 香山リカ 精神科医・立教大学教授
- 河合克義 明治大学学長特別補佐・名誉教授
- 川嶋みどり 日本赤十字看護大学名誉教授
- 小森陽一 東京大学大学院教授
- 菅原文子 米軍基地に反対する「辺野古基金」共同代表
- 竹下義樹 弁護士
- 堤 未果 国際ジャーナリスト
- 富田宏治 関西学院大学教授
- 西谷 修 安保法制に反対する学者の会呼びかけ人
- 浜 矩子 同志社大学大学院ビジネス研究科教授
- 尾藤廣喜 弁護士
- 日野秀逸 東北大学名誉教授
- 藤井克徳 NPO法人日本障害者協議会代表
- 藤田孝典 NPO法人ほっとプラス代表
- 本田宏 NPO法人医療制度研究会副理事長・外科医師
- 吉原毅 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長

憲法 25 条を守り、活かそう！ 社会保障・社会福祉は国の責任で！

2018秋の集会・行動への参加・賛同についての回答票

別紙の「アピール文(呼びかけ)」について、以下の通りにご回答を本用紙でご返信いただければ幸いです。

また、行動への賛助金(団体1口10000円、個人1口3000円)をあわせてご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

大変お忙しいところ恐れ入りますが、ご返信は、憲法 25 条を守り、活かそう！共同行動実行委員会事務局(中央社会保障推進協議会 TEL03-5808-5344)までお願いします。

FAX 03-5808-5345 アドレス k25@shahokyo.jp

※下記事項について、いずれかに○印をお願いします

1. 「憲法 25 条を守り、活かそう！」「社会保障・社会福祉は国の責任で！」2018秋の行動への賛同について

※賛同いただいた方については、ホームページ等で公開させていただく予定です

- ① 賛同し、10月25日の集会・厚生労働省包囲中央行動に参加する
- ② 参加はできないが、賛同する
- ③ 賛同も参加もできない

2. 行動への賛助金(団体1口10000円、個人1口3000円)について

①協力する ()口 ()円

※以下の口座にお振込みください。

中央労働金庫 荒川支店 普通 (口座番号) 1 2 3 4 8 3

(名義人) 中央社会保障推進協議会 事務局長 山口一秀

②協力できない

3. この行動へのご意見、メッセージ等、お願いします。

個人・団体名 ()

肩書き〈ご担当者様〉 ()

※団体の方は、ご担当者様のお名前を書いていただくようお願いします。

ご連絡先 ()